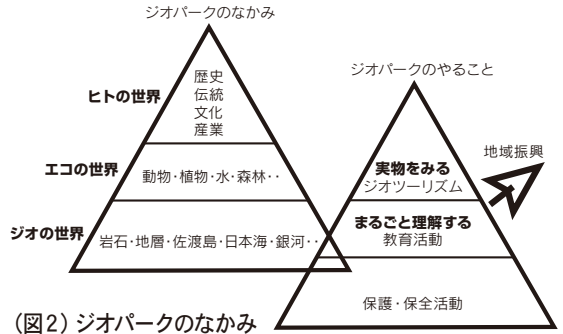


● **ジオパークのなかみと活動**
 ジオパークのなかみが図2です。日本海、佐渡島、金北山のようなジオの世界ができあがったのち、金北山に森林ができ、雨を蓄え、川となって田畑をうるおし、多様な動植物の世界が広がります。これら「エコの世界」もジオパークのなかみのひとつです。さらに、秋の豊穣を願う鬼太鼓などの伝統行事は、水が流れてくる山々があったからであり、ジオの世界と無関係ではありません（図3）。これら「ヒトの世界」もジオパークのなかみです。これら「まるごと理解」するのがジオパーク活動です。当然、ジオパークのなかみを大切に保護・保全しなければ意味がありません。



(図2) ジオパークのなかみ



(図4) 地質見学小旅行



(図3) 伝統行事



(図5) 日本海に堆積したはじめての地層

● **ジオパークは「百聞は一見」を大切にする**
 本やテレビでものごとを知ることはもちろん大切です。でも、実物を前にしての説明はその時間的・空間的スケールの実感がまったく違います。実物を一度経験して初めて初めて本やテレビの画像のスケールが無意識にわかるのです。とくに初めて見聞きする内容では「百聞は一見」をこころすべきでしょう。この実物を見る小旅行のための宿泊施設、交通機関、案内所、説明施設、ガイドさん、ガイドブックが必要です。これらの整備が地域の振興に結びつくのです（図4、図5）。ここでは市役所の観光関連の部署や観光関連諸団体の活動が期待されています。

● **世界ジオパーク、日本ジオパークへの加盟**
 表1は世界ジオパークや日本ジオパークに加盟するときに使われるチェックシートで、200点満点で採点されます。加盟後、4年ごとの再審査、2年ごとの国際会議での活動報告が必要です。このシートで注目されることは、認定合格でお願いなのでなく、継続的な地域の人々の活動が重視されることです。また、この活動を支える自然史系博物館の活躍が期待されています。

● **おわりに**
 佐渡市では、「佐渡ジオパークとはなにか」を市民のみなさんに理解していただくため、昨年度、佐渡ジオパーク講座全10回を計画し、参加者53名の落伍なしでこのほど終了しました。この講座は実物主義を重視し、巡検（地質見学小旅行）や実習を多くとりいれました。

2月20日には、ミニシンポジウム「佐渡ジオパークとはなにか」を開催し、意見交換と佐渡ジオパークへの期待を議論しました。積極的なご意見をいただき、佐渡ジオパークへの前進エネルギーとなりました。また、佐渡ジオパーク協議会も近々発足します。皆さんの佐渡ジオパーク活動への積極的な参加をお願いします。

(表1) チェックシート

審査項目(太字は重要項目)	
ジオサイトと保全(配点:70)	
ジオパーク全体のテーマ	ジオサイトを定めるストーリーないしサブテーマ
ジオが人間に与える恵みと災いを、歴史や人間の生活と関連づけて考えるジオサイト、ストーリー	
地形・地質多様性(Geodiversity)	
科学的・教育的に見て世界的・国内的に重要なサイトの質と数	
ジオパークの範囲の妥当性	
自然環境の法的規制による保護、住民による保全の状況	
ジオサイトの法的な保護、住民による保全の状況	
化石・鉱物・岩石などの不正な採取、不適切な販売の防止状況	
ジオサイトの損傷や劣化を防ぐためのメンテナンスや保護施設の状況	
教育・研究活動(配点:30)	
ジオパーク内ないし近接地域のジオパークに協力する学術研究機関の有無、あるいはジオパークのテーマと関連した研究・調査をジオパーク内で定期的に行っている機関・団体の有無	
地元の学校の生徒、地域の人々に向けての科学・環境・防災教育の実施体制と実施状況	
地元ガイドの養成プログラムの実施体制と実施状況	
教育プログラム担当職員の状態(有無、常勤・非常勤)	
ジオに関する出版物、ガイドブック、教材などの作成状況	
管理組織・運営体制(配点:40)	
運営組織における関係自治体、必要な関係機関、拠点となる博物館等の参加状況、及び役割分担など運営体制の明確性	
地域住民、住民によるNPOなどの地元各種団体のジオパークの意思決定や運営への関与	
ジオパークのテーマに関連する科学者、専門家の積極的な関与	
地質・地形等の専門家の運営組織への参画	
長期的な基本計画	
中期的(3-5年)な整備計画と予算計画	
地域内外への周知のための、Webサイトの整備など広報・マーケティングの状況	
地域の持続的な発展とジオツーリズム(配点:40)	
ジオツアーの実施状況	
ツアーの拠点となる博物館、ビジターセンター等の施設の整備状況とその運営体制	
わかりやすいジオサイトの説明板、パンフレット等の整備状況	
ジオツーリズムを成立させるために必要な関連企業との連携	
ジオ関連商品などの地域の資源を生かした商品開発	
基本計画、整備計画における、自然環境の保全への考慮	
公共交通機関、自転車、徒歩でのジオパーク内の周遊への対応	
国際対応(配点:10)	
説明板、ガイドマップ、ガイドブック、パンフレットの多国語化の状況	
外国語対応のガイド養成の状況	
防災・安全(配点:10)	
ジオパーク内の住民、訪問者に対するリスクの分析に基づき、安全・防衛対策の状況(ハザードマップの作成と周知、防衛施設の安全施設や避難施設の設置ほか)	
合計200点満点	